



平成 29 年度第 3 回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 平成 29 年 7 月 23 日 (日) 10:00～15:50

開催場所 静岡県栄養士会事務所

出席役員 ○出席 ×欠席

職域事業部	会長	副会長	〃	学校	〃	公衛	〃	研究	〃	勤労	〃
氏 名	坪井	岡本	新井	渡瀬	長谷川	赤堀	大瀧	篠原	小嶋	福山	矢ノ下
出 欠	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○
職域事業部	地域	〃	〃	〃	医療	〃	〃	〃	福祉	〃	〃
氏 名	若林	石垣	池谷	原田	久保田	古橋	渡邊	鈴木	寺田	諏訪	田森
出 欠	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○
監 事	秋谷	紅林									
出 欠	○	×									

開 会 : 定刻に至ったため、岡本副会長が出席理事を確認、出席者が過半数に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

議 長 : 定款第 30 条第 1 項に基づき坪井会長がこれにあたる。

書記の選出 : 議長により、本理事会の書記に、公衆衛生事業部の赤堀理事と研究教育事業部の篠原理事が指名された。

1 会長あいさつ

2 前回議事録の確認

- ・第 2 回理事会議事録が承認された。
- ・平成 29 年度定時総会議事録が承認された。総会は参加者も多く、無事に終わった。

3 代表理事の業務報告

(1) 会長

- 6 月 7 日 (水) 静岡県健康増進課との委託事業の打合せ (栄養士会事務所)
- 6 月 15 日 (木) 障害を理由とする差別解消推進県民会議 (もくせい会館)
- 6 月 16 日 (金) 静岡健康いきいきフォーラム総会 (グランシップ)
- 6 月 24 日 (土) 大阪栄養士会藤原会長「旭日双光章」叙勲を祝う会 (大阪)
- 6 月 25・26 日 (日・月) 日本栄養士会定期総会 (大阪)
- 6 月 30 日 (金) 静岡県給食協会総会 (あざれあ)
- 7 月 1 日 (土) 浜松 I B D 研修会 (浜松)
- 7 月 5 日 (水) 静岡県健康増進課食育推進委員会打合せ会 (静岡市内)
- 7 月 8 日 (土) 日本栄養士会財政委員会 (東京)
- 7 月 9 日 (日) 日本栄養士会業務規程委員会 (東京)

7月10日（月）静岡市静岡医師会との連絡会議（静岡市静岡医師会館）

7月13日（木）静岡県がん診療連携協議会支持療法部会（あざれあ）

(2)岡本副会長

6月17日（土）日本栄養士会 医療事業部 会議（東京）

6月25・26日（日・月）日本栄養士会定期総会（大阪）

7月2日（日）栄養指導研修会（静岡）

(3)新井副会長

6月7日（水）静岡県健康増進課との「食の環境整備事業」打合せ会（栄養士会事務所）

6月25・26日（日・月）日本栄養士会定期総会（大阪）

7月10日（月）静岡市静岡医師会との連絡会議（静岡市静岡医師会館）

7月15日（土）委託事業「健康な食事について考える」冊子作成業務打合せ会（栄養士会事務所）

7月16日（日）日本栄養士会研究教育事業部企画運営委員会（東京）

4 報告事項

(1)研修部（渡邊理事）

①総会アンケート結果（資料参照）

- ・初めてWebによるアンケート調査を実施したが、当日用紙で提出した会員も多かった。
- ・構成については、「連盟の総会を間にいれたのは良かった」「構成もよく、議員の方のお話も聞けて良かったです」という意見と、「間に連盟がやや不満」「講演が先の方が良い」の意見がきかれた。
- ・静岡県の健康課題の現状と取り組みについては、「地域へ情報を提供できるし、今自分が指導すべき内容がわかった」「見える化が良かった」等の意見がきかれた。
- ・特別講演（鈴木志保子先生）については、「分かりやすく、業務に活用できる」「元気になれる内容でした」「バランスよく食べることについて、深く考えることができました」等の意見が聞かれた。
- ・休憩中のスライド（事業部の紹介等）については、「研修会のスケジュールがわかり、良いPRになったと思います」「きれいに、目を引くように作られていた」等の意見がきかれた。
- ・今後の静岡県栄養士会（運営・研修会・その他）に期待することについては、「若い人たちが来られるような企画が必要かと思います。総会も若い人がとても少ないです」「参加していない方の参加しない理由の調査」「コンパクトでわかりやすい活動を期待したい」等の意見が聞かれた。

②7月2日（日）静岡 AOI

「栄養診断」「180度変わったアブラの考え方及び病院給食とガイドラインの矛盾」

臨床栄養実践協会理事長 足立香代子 先生 参加者 165名

(2)勤労者支援事業部（福山理事）

栄養の日・栄養週間 2017 全国イベント「栄養ワンダー2017」開催日・場所について

- ・開催日 8月3日（木）
- ・開催場所 ツインメッセ静岡（北館大展示場）

株式会社コーゲツ 50周年記念大感謝イベント内ブース

- ・開催時間 10:00～17:00
- ・プレゼント配布数 500セット

※当日「静岡県栄養士会」として来場の場合は受付にて会員証の提示により入場可能
(本来は招待状がないと入場できないとのこと)

*福山理事、矢ノ下理事、秋谷監事の3人が従事。旅費を栄養士会から出す。

(3)5月20日 第11回静栄 DAT 運営委員会 (DAT) (資料参照)

参加者:5名

(要点抜粋)

①今後の予定

- ・東部婦人センター運営協議会より講習会の依頼あり (栄養CS事業)
- ・長野県 DAT 研修会に講師として派遣 (寺田) (栄養CS事業)
- ・11/11 (土) スタッフ養成研修会に県立大学市川先生に打診済み

②協議事項 (今年度の具体的な活動について)

◆リーダー交流会の内容

- ・参加者4名を予定 (6名が欠席)
- ・日頃の連携について中心に深める

③スタッフ養成研修会の内容

- ・HUGの実施 (オリジナルケースの検討)
- ・県立大学の市川リーダーに栄養関連の講義を依頼する (ご了承頂きました)

④JDA-DAT リーダー養成研修会派遣2名 (調整中) 9/30(土) 10/1(日)

- ・西部の公衆衛生の方に打診する
- ・東部の地域活動の方にも打診中

⑤スタッフ管理について (登録・名札・ジャンパー等)

- ・会員管理を事務局員と共に進めていく

⑥地域での DAT 活動について (研修会・勉強会等の状況)

- ・11月までにアナウンス用資料を作成し、発信していく (寺田作成)

⑦次回開催日 平成29年11月11日 (土) 午前中を予定 (午後の研修会と同時開催)

(4)福祉寺子屋 (西部) 報告 (資料参照)

日時:平成29年6月17日(土) 午後1時30分～午後5時

会場:介護老人福祉施設 静光園 (浜松市南区小沢渡町1300-1)

参加者:福祉栄養士11名 内容:13:30～開会 担当:運営委員 関

◆自己紹介 (施設名・今日、期待すること他)

①福寿荘 (大河内) ⇒1年間、栄養ケアプランの立て方、特に新入所の利用者について

②小笠老人ホーム (松井) ⇒特養から養護へ異動し、2年目となる。

③磐田学園 (小林) ⇒栄養ケアプランを作成しているが、浜松学園と兼務のため加算がつかないと言われた。評価はして欲しい。本日は施設を見学させてもらえるのを楽しみにしている。

- ④根洗寮（村上）⇒静光園と同法人であるひかりの園で働いている。
- ⑤ふじの華（村木）⇒H28年4月開園の100床の特養である。
- ⑥さぎの宮寮（岩崎）⇒昨年も福祉寺子屋に参加している。個別対応についてと委託との兼ね合いについて聞きたい。特におやつ予算や特別栄養補助食品などについて
- ⑦天王町の特養（柴田）⇒ひとつひとつの確認をしていきたい。
- ⑧東遠学園（関）⇒兼務で幼児の障がい施設で加算をとっている。本園が委託になり、難しい。
- ⑨小豆餅の特養（溝垣）⇒5年目の施設で入ってから管理栄養士を取った。
- ⑩アポロン（寺田部長）⇒仲間作りが大切である。
- ⑪静光園（刑部）⇒昨年の福祉寺子屋で、近隣の施設での栄養士さんと話し合い開催の運びとなった。もともとは根洗いにあったが平成13年にこの土地に移転をし、建築。

◆法人『ひかりの園』静光園 施設見学

各階ごとに3食堂、保温・保冷庫がありユニット形式で食事がとられている。

厨房内見学：夕食の配膳が終了後、白衣を着て見学。

栄養士事務室にて、栄養マネジメント資料のまとめ方など

感想・考察：盛りたくさんの内容で時間が延びてしまったが、満足のいく研修会となった。

実りある勉強会であることを周知して多くの会員の参加を募る。

(5)地域活動事業部（若林理事）

【委託事業 進捗状況】

① 元気をみつめる事業 高校生対象外食活用講座

3回(2校) : 県立松崎高等学校 (11月頃開催予定)

県立農業高等学校 (開催時期未定、2回開催)

② 飲食店における栄養成分表示定着促進事業

実施予定5店舗

4店舗：マルサンカフェ（静岡市）	担当者：近藤 真紀	会員
緑カフェ天神森（藤枝市）	担当者：小野田 美津子	会員
エキチカ温泉くろしお（焼津市）	担当者：渡邊 恵美子	会員
インド料理マラジャダイニング（富士市）	担当者：長田 みのり	会員

③「健康な食事について考える」冊子作成事業

7月15日に第1回打合せを開催（参加者：新井副会長他 関係者5名）

冊子の骨子の検討、事業計画他について、具体的に協議した。

料理決定メニューおこし 5名 8月末、 文書作成 9月末まで

料理栄養計算 実習日までに60品 料理実習準備 2名×1回 10月7日

料理実習写真撮り 5名～6名×2回 実習日 10月8・9日

冊子の校正・まとめ 3名×2回、平成30年1月予定

今後の原稿作成打ち合わせ : 第2回目（中間で原稿確認）、第3回目 来年1月頃（最終）

最終原稿を営業指導センターに提出を2月予定

④ 幼児から始まる出前講座

委託契約（期間：7月13日～2月28日） 6園

東部：	桜ヶ丘幼稚園（三島市）	担当者：長坂久美子・勝又久美会員
	ピーターパン幼稚園（三島市）	担当者：池谷広美会員
中部：	こまどり幼稚園（静岡市）	担当者：石垣範子・窪田恵子会員
	桜花幼稚園（静岡市）	担当者：神戸千恵子・内田幸子会員
西部：11/2	クリストファーこども園（浜松市）	担当者：原田陽子・山崎靖晃会員
11/17	早出幼稚園（浜松市）	担当者：山崎靖晃・八木寛奈会員

⑤ 富士宮市外食栄養成分表示事業

実施予定 10店舗

【新規】	お食事処 みさ	担当者：若林恭子会員
	もちや	同上
	パスタ1丁目イオン富士宮店	担当者：竹川美江会員
【地産地消登録店】	ころぼっくる	担当者：渡邊光世会員
	うおやのげんさん	担当者：若林恭子会員
	おうち喫茶ひまわり in 富士宮	担当者：田山恵子会員

(6) 表彰候補者の推薦について（岡本副会長）

①静岡県知事表彰候補者【6月19日締切】

（「静岡県表彰条例」に基づく） 吉田 隆子 会員（研究教育事業部）

②静岡県知事功労別表彰（保健衛生功労）候補者【7月31日締切】

（「知事功労別表彰、知事褒賞に関する健康福祉部の取扱要綱」及び
「静岡県健康福祉大会における知事表彰（保健衛生功労）取扱要領」に基づく）

栄養指導業務功労	今泉 美津子 会員（地域活動事業部）
	渡邊 恵美子 会員（同）

③公衆衛生事業功労者の表彰候補者（一般財団法人日本公衆衛生協会）【7月7日締切】

秋定 千英美 会員（公衆衛生事業部）
渡邊 美子 理事（医療事業部）

(7) 栄養ケア・ステーション事業報告（久保田理事）

- ・第1回静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会定例会議：7月10日（月）

出席者：静岡市静岡医師会5名、静岡県栄養士会：坪井会長、新井副会長、久保田理事、鈴木理事、
鈴木栄養CS担当＊日本栄養士会、早野顧問弁護士も同席

- ・診療所における栄養食事指導件数の報告、診療所からの求人2件3名紹介（2名採用）の報告
- ・「管理栄養士の紹介」チラシ配布は6/15会報に同封。次回秋にも同封予定

- ・「栄養に関する勉強会」の提案に対し、医師を対象とした講演会を開催することが決定した。静岡県栄養士会が共催。講演会後懇親会を開催する。費用、賛助会員等は今後協議する。

日時：平成 29 年 10 月 12 日（木）19 時 15 分～1 時間程度

内容：（仮）脂肪酸の質・脂質異常症と栄養指導の基本的情報・栄養指導の効果

講師：静岡県栄養士会 新井副会長

＊開会挨拶は、静岡市静岡医師会袴田会長と静岡県栄養士会坪井会長。座長は医師会に依頼。

閉会挨拶は、静岡市静岡医師会福地副会長。

＊8 月中に詳細決定し医師会の通報に掲載する。

- ・「管理栄養士を雇用していないクリニックへのサポートについて」静岡県栄養士会より提案
日本栄養士の早野貴文顧問弁護士による栄養士・管理栄養士制度、雇用について講演。

- ・次回定例会議は平成 30 年 1 月 15 日（月）予定。

業務受託件数は、昨年より件数減少傾向

（テンプスタッフの担当者が変更になり県内のみになった。5 ADAY 協会依頼減による）。

- ・食品の栄養成分表示研修会について

2018 年 1 月～3 月に実施予定

7/26（水）18 時～ 県衛生課（企業向け）「栄養成分表示作成講習会」の打ち合わせに続き検討
消費者庁よりパンフレット活用依頼あり：200 部送付希望を提出（100 部は確実に送付とのこと）

(8) 賛助会員の退会について（岡本副会長）

三泉トラスト保険サービス株式会社（東京都千代田区神田錦町 3 丁目 11 番 1 号）

(9) その他

① 県民栄養調査「地域包括ケアに関する調査」について（学術部）

6 月 23 日にお礼のはがきを送付。返信期日を 7 月 10 日まで延長した。

アンケート回収数 84 枚（回収率 57.5%）

② 情報管理（若林理事）

エボリューション&クリエイトの夏休みが 8 月 10～16 日までとなったため、8 月のホームページアップは 17 日、メールマガジン配信が 8 月 22 日となる。よって、アップの資料提出期限は 7 日とする。

5 協議事項

(1) 研修部（渡邊理事）

① 平成 29 年度後期事業

- ・ 9/30（土）「サルコペニア、フレイルティの進行を防ぐための栄養管理」

「認知症の摂食障害の問題点とその対策 最短トラブルシューティング」

沖縄メディカル病院あがりしまクリニック院長 金城大学 客員教授 吉田 貞夫 先生

・10/22(日) 「栄養管理に役立つフィジカルアセスメント」

「水・電解質管理 経口から輸液まで」

済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長 谷口英喜 先生

・11/3(金) 《指導者の為の健康・栄養セミナー》(日栄委託事業:大塚製薬)

「スポーツ栄養」 神奈川県立保健福祉大学 鈴木志保子先生

「ジュニアアスリートと栄養士 ―食事・睡眠・運動―」

中京大学 スポーツ科学部 競技スポーツ科学科 教授 湯浅 影元 先生

- 大塚製薬の方から、午前と午後に分けて1日通した参加者募集にして欲しいと要望があった。対応してよろしいか。

以上について、全会一致で承認された。

・11/18(土) 「在宅介護者食生活支援研修会」

今回3事業部での開催となる。公1事業であるため一般市民、会員外の人、特に現在、在宅介護に関わっている人や自宅介護を行っている人を対象に内容を考えているが、意見をいただきたいと担当者から依頼があった。

これに対し、

- 単発でなく、中・長期的視点で計画をした方が良いのではないか。
- 軽い嚥下だと思っていたが、そうでない事例もある。一般の人は気づいていない。
- 嚥下機能の状況を判断する振り分けをする役割を栄養士が積極的に担っていいのではないか。
- 栄養士の必要性を印象付けるなら、嚥下より低栄養をやった方がいいのか？
- 自宅にあるもので栄養改善するために何を作ることができるか、腐ったものの見分け方、など目的を絞る必要がある。実施はGOでいいが、ゴールは栄養士を利用したいと参加者に思わせるものとなるよう、内容をもう少し練る必要がある。
- 研修会の対象は会員向けではないが、会員情報としてお知らせ(「必要な方がいたら声掛けしてくださいね。」というもの)を8月1日に送付する。

- 別途チラシ(裏面申込書)を作成し、包括センター、市町等に発送する。

このような意見を受け、担当者は再度内容の検討をおこなうこととなった。

・12/2(土) 「特定保健指導からの糖尿病予防(仮)」

あいち健康の森 健康科学総合センター センター長 津下一代先生

「特定保健指導 演習」

日本栄養士会特定保健指導担当 管理栄養士運営委員 菊地真代氏

- 午前の津下先生の研修会は、定員を100人としているが、午後は演習のため70人で実施してもよろしいか⇒全会一致で承認された。

・2/10(土) 「第3回静岡県栄養士大会 学術研究会・交流会」(演題募集)

②地区ブロック研修会&交流会

- ・西部 9/9（土）浜松市福祉交流センター 大会議室

講演会：摂食障害の病態と治療について（仮）浜松医科大学精神科神経科 栗田大輔先生

- ・中部 9/26（火）ブロック研修会 あざれあ

- ・東部 12/10（日）日大三島

「静岡県東部の健康・栄養状況について」

交流会の開催に際し、以下のような意見があった。

- 勉強会があるので、その流れで交流会に参加してもらいたいと思っている。愛知県は「フレッシュマン研修」といった名前を付けて、管理栄養士養成施設に向けて大々的に募集して10月に開催しているが、学生に栄養士会を知ってもらっている方法としてよいアイデアだと思う。愛知県は養成施設が多いので会長が全部回れない、ということでそのような企画を考えたとのこと。

- 交流会に来て実際に入る人が少ないと聞いている。方法を考える必要がある。

- 人数が多くなると、来た人がほっとする。大々的に集客するのも大切。

- 浜松大学は夏休みだが、まだ栄養士会に入っていない卒業生には声をかけることができる。

このような意見を受け、チラシに、「いろいろ現場で抱えている悩みを共有してみませんか？」とか「栄養士会の活動を知っていただく」など文面を工夫して研修会の紹介も追加することとする。

以上について、全会一致で承認された。

③平成30年度の定時総会 特別講演について

講演内容・講師等についてのアイデアを募る。スポーツとリハビリのコラボはどうか。市民講演でもあり特定健診指導など一般に役立つ内容もよいと思う。各自考えておいてほしい。

(2)フレイルチェック表について（坪井会長）

（資料参照）

歯科医師会は、オーラルフレイルの委員会を作っている。食べることに関してのフレイルの項目が少ないのでワーキンググループを作りたい。県は出来上がりを待っている。

(3)スポーツ栄養士のワーキンググループの立ち上げについて（坪井会長）

静岡県はスポーツ栄養士が9人おり、全国的にも他県に比べて人数は多い。しかし、スポーツ栄養士としての働き口は少ない。栄養士会にワーキンググループを作る必要があるかどうかを協議してほしい。

- スポーツ栄養士は栄養士会の会員であるが、他の認定資格を持っている会員もいる。スポーツ栄養士に対してのみ特別なことをするのはどうか？会員減の状況下、限られた予算（会費）なので、会員増対策を優先して欲しい。

- 県民の健康を守っていこうとしたら、高齢社会であるので、スポーツでなく、健康運動指導

士やスポーツリハビリ？の方が必要ではないか。

- 県内の9人自ら主体的に話し合う機会を年1回でも持てばどうか。静栄として会議場所（事務所）を貸すのは協力できるが、日当、旅費を出すのは難しい。「講師をやります。」と当事者から申し出てもらい、ケア・ステーションに登録して活動してもらうことはできる。
- 別途協議事項になっているが、個人情報の保護について、会員から会が訴えられる、という事例も出てきている。会場を貸すことも今後の監査の対象となると考えられる。

●青島会員が相談に来た際の内容（CS鈴木説明）：

全体で集まったことがないので、9人で集まるようにはしたい、とのことだった。今、中部で集まっている3人は、体協に所属して活動している。事業の依頼があった時、栄養士会から日当等が欲しいという訳ではなく、バックが静岡県栄養士会である、活動するときには「静岡県栄養士会から来ました。」と言えるようにしたいとのことだった。

これらの意見を受け、

まず9人で集まって、要望を文書で出して欲しい。ケア・ステへの登録は必要なもので、してもらう。

以上について、全会一致で承認された。

(4)「第6回 健康寿命をのばそう！アワード「生活習慣病予防分野」の募集について（坪井会長）
（資料参照）

平成25年に、静岡県と藤枝市、28年度に袋井市で受賞している。知り合いに情報提供してほしい。
以上について、全会一致で承認された。

(5)東海北陸地区会長等合同会議（8/26・27）について（坪井会長）

出席にあたり、どんなことを他県に聞きたいか、また協議してほしい案件について相談があった。

①他県に聞きたいこと

- ・連盟と栄養士会の関わりについて（総会の方法、会費などの徴収方法など）
- ・生涯教育の単位研修会をどのくらい行っているか（演習の実施数、参加者数など）
- ・研修会に参加する人はどのような人か（年齢構成、一人あたりの参加回数など）
- ・研修会以外の会員増対策として行っていること

②協議してほしい案件 特に意見なし

以上について、全会一致で承認された。

(6)静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会共催による合同研修会について（坪井会長）

静岡市で医師会との関係が長く続いているのは、事務局が関わり連絡を取り、定例会を設けているため。その時の医師会の会長により考え方が変わる。ケア・ステに登録している管理栄養士の活用を考えてもらう上で、このような合同研修は重要。医師会との絡みなので、やり方は医師会に合わせる必要がある。今後、東部、西部の参考になれば良いという意見を坪井会長より受ける。

開催日時：10月12日（木）19：15～

内容：①研修会 テーマ：脂質異常症について

講師：静岡県立大学 新井英一先生

②懇親会（双方会員の交流を図る）：立食（ケータリングによる）

会場：静岡市静岡医師会館 講堂

募集人数：100 人（医師会及び栄養士会 会員）

準備：①会員への呼び掛け（基本的には静岡市在住又は、勤務の会員を対象）をどうするか。

静岡市内限定のためHPには掲載しない。ケア・ステに登録している人にはメール予定
メールのない人には電話で知らせる。

②懇親会に係る経費の費用負担は折半ということにしたので、静栄としてどのように費用を
捻出するか。医師会の方は参加費 500 円くらいをとるか理事会にかけるとのことなので
医師会に合わせる。

③賛助会員に協力を求めるか。（持越し）

当日の役割分担：医師会（開会あいさつ、座長、閉会の挨拶、乾杯等）

静栄（会長のあいさつ、新井副会長の講義）

静栄担当：久保田理事、鈴木理事、CS 鈴木コーディネーター

以上について、全会一致で承認された。

(7)ふじのくにケアフェスタ2017 9/16（土）・17（日）について（寺田）

6月中旬に栄養士会に依頼が来た。昨年度も福祉で担当しているため、栄養士会の紹介ブース出展
で申請している。17日に寺田理事、田森理事が出るが、16日のスタッフをお願いしたい。

会場は、ツインメッセ静岡、予算は30,000円（5,000円×3人×2日）。対象者は学生が多いので、
内容は主に学生向けPRとなる。地区担当をお願いしたい。

⇒静岡市の地区担当者（奈良さん）に16日参加スタッフについて聞いてみる。

坪井会長より、中部でのイベントが多いから協力して欲しいと要請があった。

以上について、全会一致で承認された。

(8)しずおか元気応援フェア2017 10/7（土）・10/8（日）について

静岡県給食協会と協力して実施

◆静岡県給食協会ブース：InBody測定（体組成計、身長計、パソコン、プリンター）

理学療法士、栄養士2～5名（受付含む）

◆静岡県栄養士会ブース 給食協会の検査後の栄養相談を担当

中部地区在住の会員で対応（現在、担当が決まっていない）

（予算：賃金5,000円×4人×2日間）

⇒大瀧理事→中部の地区研修担当理事→ブロック長の奈良さんというルートで担当者を依頼する
こととなった。

以上について、全会一致で承認された。

(9)沼津市「歯っぴーフェスティバル」 10/28（土）について

東部のブロックリーダーの白石さんに、健康長寿財団から直接依頼が来た。出店の可否を金曜日
までに回答する必要があるので理事会で検討をお願いしたい。栄養士会予算は（2,500円×4人＝

10,000 円) も材料費もある。昨年は、初参加で、9:00~12:00 の時間帯を 2 人で担当した。内容は減塩みそ汁をやった。白石さんは出られないことを聞いている。

⇒県民のためになるのでやった方がいいという坪井会長の意見を受け、渡邊理事から大瀧理事へ、やる方向で電話することとする。内容は歯に沿ったものとする。

人の確保ができなければ参加できない。できるだけ大勢の方に参加してもらいたい。

＊健康長寿財団から栄養士会を通さず、直接依頼が来たことについて。

主催は沼津市で、健康長寿財団が参加する際にサポーターとして静岡県栄養士会が入っているために依頼が来たということを確認。

以上について、全会一致で承認された。

(10)在宅介護者食生活支援研修会 11/18 (土) について (寺田)

研修部からの協議事項にあるので割愛

(11)会員の承認について (岡本副会長)

新入会員 23 名について、全会一致で承認された。

(12)その他

①個人情報の取扱いについて

これからは、個人情報に関して団体としてなにかあれば訴えられる時代になってくる。個人情報を守るルールを作っておくことが今後の監査項目に入ってくるだろう。しかし、この建物はセキュリティーがしっかりしているので、運用に支障がでない程度の運用でよいと思う。(坪井)

＜運用案について＞

- ・メルマガ登録者、研修会名簿および紐付されたデータについてのパスワードがないので付ける。
- ・研修会の参加者名簿は、当日の担当者に渡し、戻ってきたかを確認するチェック表をつくる。
- ・研修会に持っていくパソコンの管理⇒終わったらデータ削除する？
- ・会議の配布資料で個人情報に関する文書は、記名してもらい回収することとする。
- ・追加の新入会員名簿について個人管理をしっかり行う。

②各地区の研修会通知の広報に関する要望について

- ・富士・富士宮地区から郵送依頼について (事務局)

今まで地区ごとの研修会通知は、各地区で行っていた。全会員分の印刷・封入に手間がかかる。今後は、

- ・HP・メルマガにアップしているので地区研修の案内発送はしないこととする。
- ・HPを見ない人がいるので、今後発送の封筒に「HPをご覧ください。」とか一言印刷する。
- ・はがきで申し込む人は決まった人なので、個人的にアタックしてPCからの入力を促す。

6 連絡事項

(1)JDA-DAT 緊急時連絡シュミレーションを 9/28 (木) 予定 (寺田理事)

- ・トアス号（トアスという会社が寄付金を出してDAT号を作った）の巡回の希望があれば申請してください。
- ・メールが届いたら連絡網を回してください。

(2) 第7回 JDA-DAT リーダー育成研修会 9/30（土）・10/1（日）（寺田理事）

3名派遣 静栄から派遣2名 : 池谷広美理事、杉山貴紀会員（静岡赤十字病院）
県から派遣 : 仲田沙織会員（賀茂保健所）

今年は神奈川県で開催される。開催地は上部組織で決定されるとのことだが、静岡県が開催地になれば、参加人数を増やせるし費用もかからないのではないかと新井副会長より発言があった。ぜひ会長会議で開催地に手上げしてほしい。

(3) 福祉寺子屋開催について（寺田理事）

- ①10/28（土）13：30～（中部）栄養士会事務所にて開催予定
- ②平成30年1/13（土）13：30～（東部）サンウェル沼津にて開催予定

7 その他

➤ 診療方針、介護保険改定の伝達講習会について

講習会は8月に行われる。（参加者は、2,000円自費）会員に伝達する講習会をどのように開催していくか。食事療法学会の頃だと内容がほぼ確定する。2月の栄養士大会の午前中に伝達講習会を実施する。（参加者会員から2,000円徴収、日栄より修了証が発行される）

➤ 会員増対策について（池谷理事）

現在の入金会員1212人、40代から50代の人が多いので今後は減少していく。ケア・ステの事業を行った人を地区の理事が把握していると、研修会の折に声掛けができ、ケア・ステ事業の質の担保もできる。実際、仕事があると脱会しない。また、そうするとケア・ステ事業の人探しに事務局の負担も減るのではないかと。会員増対策とケア・ステの登録者をリンクさせていったらどうか。まず、会費未納者でケア・ステへの登録者がいないか調べてほしい。

➡後日、事務局で調査したところケア・ステ登録者で会費未納者はいなかった。

➤ 会費未納者への連絡について（事務局）

現在、会費未納者が約200人いる。9月に未納者に対してハガキを出す予定。はがき代が10円上がったので、郵送代を減らすためにも8月中に未納者に対し会費納入の連絡をお願いする。名簿は次回理事会で回収。

➤ 記念式典の準備について

坪井会長より、山下前会長や菅野元副会長、西島元副会長らに電話をかけて方向性を相談し、次回の会議で委員を決めるようにする旨の報告があった。

➤ 新井副会長より表彰規定に関する1回目の会議を本日行った旨の報告があった。表彰規定の

整理と規定の開示をする方向を話し合った。次回会議に案件として提出する。

- 災害時の際に着用する JDAT のジャケットについては、価格が高いので保留されている。矢ノ下理事より腕章の提案があった。見積り等を取り次回会議に案件として提出する。
- ドラッグストアや健康フェアなどで健康相談に来る人など、診断名がついていない人にどこまで栄養指導していいのか、医師の指示がない中での指導は、危険が伴って怖い。一線を越えてはいけない。最近、ドラッグストアに栄養士が多く採用されている。薬店は新しい分野の栄養士になる。薬剤師会は、「かかりつけ薬剤師」を進めている。栄養士も地域に入っていかなければならない。国民が、栄養士に何を求めているか、新卒の栄養士をどのように教育していくかも含め、国民目線で、公1事業などの研修会は企画も考えていかないといけない。

8 確認事項

(1)行事日程の確認について

(2)次期役員選挙に係る日程について

- 日程は、選挙管理委員会が決めることだが、予定表に基づいて行われる。各事業部で後任を根回ししておいてもらうよう坪井会長より連絡があった。

(3)その他

特になし

以 上

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

平成 29 年 7 月 23 日

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 坪井 厚
副会長 周本 康子
副会長 新井 英一
監事 秋谷 真志子